

2023 年 11 月 2 日

業界初^{※1}、AI 学習で検知対象追加や精度向上が現場で可能に ～AI、CPU 性能が飛躍的に向上した新「X シリーズ」9 機種を発売～



^{アイプロ}
i-PRO株式会社（東京都港区、代表取締役社長 尾崎 祥平、以下 i-PRO）は、フルモデルチェンジする「X シリーズ」のハイエンド AI ネットワークカメラに、業界初^{※1}となる設置現場で環境に応じた AI 学習を可能とする AI アプリケーションを搭載し、2024 年 2 月より販売することをお知らせします。

■AI 現場学習アプリケーションの概要

従来の AI アプリケーションは、人物、車、二輪車など、あらかじめ学習させた対象物のみ検知が可能で、事前に学習されていない別の検知対象、例えば、昨今被害が増加しているクマやイノシシ、工場での特殊車両などを追加するには、新たなアプリケーション開発が必要となります。また、あらかじめ学習させた対象物と類似した物体、例えば、人の背丈ほどある観葉植物を人と誤検知したり（誤報）、あらかじめ学習させた検知対象物が検知されなかったり（失報）、多種多様な現場環境では精度に課題が残っていました。

新開発の AI 現場学習アプリケーションでは、お客様の現場に合わせて、検知対象の追加を行ったり、誤報や失報のフィードバックにより検知率の向上を行ったりする追加学習が可能となります。これにより、より信頼性の高い解析データによる確度の高い対策の立案や、誤報による無駄な現場巡回業務の削減などが可能になります。

この AI 現場学習アプリケーションは、現行モデル比で約 4 倍の AI 性能、CPU 性能を実現した、新「X シリーズ」で初めて搭載して市場に投入します。（新「X シリーズ」の詳細は後述）。

●システム構成

- ・対応カメラ：新「Xシリーズ」（現時点）
- ・必要なAIアプリ：AI現場学習アプリケーション（無料）、AI動体検知アプリケーション（WV-XAE200WUXのライセンス購入が必要）いずれも新「Xシリーズ」にプリインストール済み。
- ・設定ツール：i-PRO設定ツール（iCT）
- ・連携機器：アラーム連携などに必要な機器はAI動体検知アプリケーションと同様となります。

●検知対象の追加

- ・AI現場学習アプリケーションを使って、AI動体検知アプリケーションの標準検知対象（人物・車・二輪車）に、現場で必要となる新しい検知対象を追加できます。

[追加検知対象例と使用例]

- フォークリフトなどの作業車、スケートボードなどの遊具：立ち入り禁止エリアに入ったらアラームを発報
- クマ、イノシシ、サルなどの野生動物：区域内に侵入したらアラームを発報
- 店舗ユニフォーム着用者：出入口で、店舗ユニフォーム着用者とお客様が通過した人数を分けてカウント

●誤検知（誤報）・検知漏れ（失報）の削減

- ・AI動体検知アプリケーション（WV-XAE200WUX）の標準検知対象である人物・車・二輪車の検知精度改善により、誤報・失報が削減できます。

[改善例]

- 特定の向き・姿勢だと検知しづらい人物の検知の改善
- 特定の角度だとわかりづらい車両の検知



■新「X シリーズ」の概要

フルモデルチェンジする「X シリーズ」は、屋外用ボックスカメラ、屋内用ドームカメラ、屋外用ドームカメラ、それぞれ 2MP(1080p)、5MP、8MP のセンサーを搭載した各 3 機種の子計 9 機種です。2MP(1080p)、8MP モデルは 2024 年 2 月、5MP モデルは 2024 年 4 月より販売します。

●商品の主な特長

1. 最大 9 つの AI アプリケーションの搭載、最大 5 つ^{※2}の AI アプリケーションの同時使用により、切り替えの手間なく必要な AI アプリケーションを 1 台のカメラで運用が可能

AI アプリケーションが利用可能な ROM 領域を 6GB に大幅拡張することで、AI アプリケーション搭載可能数を拡大。

AI 性能、CPU 性能を従来モデル比で約 4 倍に向上。加えて、AI アプリケーションが利用可能な RAM 領域を 450MB に拡張することで、AI 現場学習アプリケーションのような複雑で高負荷のアプリケーションの使用やアプリケーションの同時使用数拡大を実現。

i-PRO の SDK(ソフトウェア開発キット)により、パートナーやお客様で制作した AI アプリケーション搭載も可能。

2. AI 現場学習アプリケーションによりお客様の現場で検知対象の追加や検知精度改善が可能。アラームや検知データの信頼性をより高め、監視業務の効率化や確度の高いマーケティング施策立案に寄与

3. AI プロセッサを搭載していない同一ネットワーク上のカメラ（非 AI カメラ）最大 3 台の映像をとりこみ、AI 映像解析が可能^{※3}。既設の非 AI カメラの活用で導入コストを抑えつつ、解析対象を拡大^{※4}

4. 50m照射の IR-LED と光学 3.1 倍ズーム（8MP モデルは 2.0 倍）、および、AI プロセッサがもたらす画質自動最適化により、夜間でも対象物を明確に撮像

5. データの改ざんやなりすましを防ぐサイバーセキュリティ性能

第 3 者機関発行の電子証明書（Global Sign^{※5}）のプリインストール、FIPS 140-2 Level3^{※6}に認定されたハードウェアの搭載に加えて、カメラの乗っ取りを防ぐセキュアブートを i-PRO として初めて搭載。セキュア性能が高い映像監視システムを提供。

※1：セキュリティカメラ搭載 AI アプリケーションで学習する方式において。2023 年 10 月現在、当社調べ。

※2：2MP、5MP モデルの場合。8MP モデルの場合は最大 4 つ。

※3：i-PRO 製カメラでは H.265 対応カメラ（全方位カメラを除く）、他社製カメラでは JPEG で 1920x1080 か 1280x720 を 5fps 対応カメラの映像を取り込みます。解析結果を見るには、別売のマルチ AI ソフトウェア（WV-ASA100(W)）が必要です。

※4：2024 年 4 月以降バージョンアップで対応予定。

※5：GlobalSign は GMO グローバルサイン株式会社の登録商標。

※6：FIPS 140-2 は、米国連邦情報処理標準規格（Federal Information Processing Standards）で暗号化モジュールのセキュリティ要件を定めた規格。Level 3 は、政府や法執行機関など、高いセキュリティが求められる場所に適したレベル。

■品番と主な仕様

品名		品番	ズーム倍率	同時使用 AI アプリ数	外観
2MP(1080p)	屋外	WV-X15300-V3LN	3.1 倍	最大 5 個	
5MP	ハウジング一体	WV-X15500-V3LN	3.1 倍	最大 5 個	
8MP	AI カメラ	WV-X15700-V2LN	2.0 倍	最大 4 個	
2MP(1080p)	屋内	WV-X22300-V3L	3.1 倍	最大 5 個	
5MP	ドーム	WV-X22500-V3L	3.1 倍	最大 5 個	
8MP	AI カメラ	WV-X22700-V2L	2.0 倍	最大 4 個	
2MP(1080p)	屋外	WV-X25300-V3LN	3.1 倍	最大 5 個	
5MP	ドーム	WV-X25500-V3LN	3.1 倍	最大 5 個	
8MP	AI カメラ	WV-X25700-V2LN	2.0 倍	最大 4 個	

【全モデル共通仕様】

AI アプリ搭載数	最大 9 個	IR 照射距離	50m
-----------	--------	---------	-----

いずれも価格はオープン価格、発売時期は 2MP(1080p)、8MP は 2024 年 2 月、5MP は 2024 年 4 月です。

■i-PRO について

i-PRO 株式会社は、セキュリティ監視、パブリックセーフティ、そして医療用イメージングの各分野に欠かせないセンシングソリューションの世界的なリーディングカンパニーです。パナソニックにおける 60 年以上にわたる数々のセンシング技術とイノベーションを継承し、2019 年に設立されました。

私たちは、一瞬も見逃さない高度なセンシング技術とあらゆる環境に対応する信頼性の高いソリューションで、人々の命を守り救うプロフェSSIONALをサポートし、より安心安全な社会の実現に貢献します。

<https://i-pro.com/corp/jp/>

< 本商品に関するお客様からのお問い合わせは >

i-PRO カスタマーコンタクト（<https://i-pro.com/products and solutions/ja/surveillance/contact-us>）まで
お願いいたします。

【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先】 ジャパンリージョン 担当・竹林 E-mail mai.takebayashi@i-pro.com